

# EU Indicators

発表日: 2019年5月23日(木)

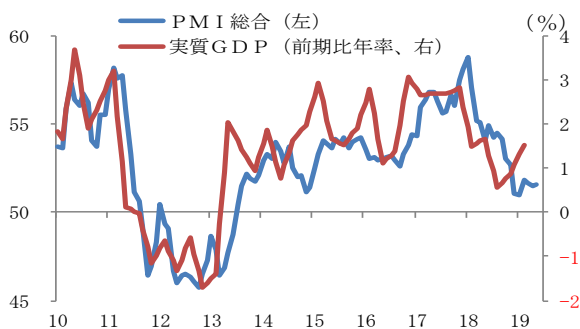
## 欧州経済指標コメント: 5月ユーロ圏PMI速報

～景気を支える雇用判断に黄信号～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部  
 首席エコノミスト 田中 理 (TEL: 03-5221-4527)

- 5月のユーロ圏の総合PMIは51.6と前月から0.1ポイント改善。総合PMIは、製造業PMIの構成項目である生産（産出）指数と、サービス業活動指数（サービス業PMI）の合成指数。その製造業の生産指数は4ヶ月連続で50割れを記録しているが、2ヶ月連続で悪化モメンタムが緩和している。サービス業活動指数は50超を維持しており、過去2ヶ月に改善モメンタムが鈍化。結果として、総合PMIはごく僅かながら3ヶ月振りに改善モメンタムが加速した。
- ヘッドラインの製造業PMIと総合PMIの動きに齟齬がみられるように感じるのは、製造業PMIの構成5項目のうち、生産指数（総合PMIに利用）と受注指数が改善した一方で、残りの雇用判断、中間財在庫、入荷遅延がこれを上回って悪化したため。産業計の雇用判断は2014年8月以来の50割れを記録。特にドイツの製造業・サービス業ともにブレーキ。サービス業のその他調査項目では、受注や雇用判断の改善モメンタムが鈍化。水準はなお高いものの、製造業を起点とした景気減速が雇用判断やサービス業にも波及し始めている可能性がある。
- 国別・業種別の内訳は、ドイツ・フランスともに製造業生産指数の悪化モメンタムが緩和。ヘッドラインの製造業PMIでみると、ドイツで悪化モメンタムが僅かに再加速、フランスで改善モメンタムが加速。サービス業PMIは、ドイツで改善モメンタムが鈍化、フランスで改善モメンタムが加速。サービス業の雇用判断も上記同様に、ドイツで改善鈍化、フランスで改善加速。

■ユーロ圏：PMI総合と実質GDP



出所：IHS Markit、欧州統計局

■ユーロ圏のPMI



出所：IHS Markit

■購買担当者指数（PMI、季節調整済み）

	2018				2019											
	2Q	3Q	4Q	1Q	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月		
ユーロ圏																
総合産出指数	54.7	54.3	52.3	51.5	54.5	54.1	53.1	52.7	51.1	51.0	51.9	51.6	51.5	51.6		
製造業購買担当者指数	55.6	54.3	51.7	49.1	54.6	53.2	52.0	51.8	51.4	50.5	49.3	47.5	47.9	47.7		
サービス業業況指数	54.5	54.4	52.8	52.4	54.4	54.7	53.7	53.4	51.2	51.2	52.8	53.3	52.8	52.5		
ドイツ																
総合産出指数	54.2	55.2	52.4	52.1	55.6	55.0	53.4	52.3	51.6	52.1	52.8	51.4	52.2	52.4		
製造業購買担当者指数	57.0	55.5	51.8	47.1	55.9	53.7	52.2	51.8	51.5	49.7	47.6	44.1	44.4	44.3		
サービス業業況指数	53.2	55.0	53.3	54.6	55.0	55.9	54.7	53.3	51.8	53.0	55.3	55.4	55.7	55.0		
フランス																
総合産出指数	55.4	54.4	52.3	49.1	54.9	54.0	54.1	54.2	48.7	48.2	50.4	48.9	50.1	51.3		
製造業購買担当者指数	53.6	53.1	50.6	50.8	53.5	52.5	51.2	50.8	49.7	51.2	51.5	49.7	50.0	50.6		
サービス業業況指数	55.9	55.0	53.2	49.0	55.4	54.8	55.3	55.1	49.0	47.8	50.2	49.1	50.5	51.7		

出所：IHS Markit

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。